



詳しくはHPを
ご覧ください。

・開催日:9月20日(金)～21日(土)1泊2日 ・申込締切:9月2日(月)

名張育成会 検索

vol.92
2019.8.1発行

発行:社会福祉法人 名張育成会 広報委員会 〒518-0615 名張市美旗中村2326
TEL 0595-65-0271 FAX 0595-65-2936
発行責任者:市川知恵子 編集責任者:宮田義則 編集長:佐伯典昭(株式会社サンエイ)
編集デザイン主任:新井知子(株式会社サンエイ) 題字:千秋育子

\\ ピアサポーター //

仲間がいたからやり遂げた!

第44回三家連精神保健福祉大会を開催

6月27日(木)

うつ病を始め心の病気が社会問題になっていますね。そのような精神障害をかかえる当事者やその家族などが、「ほんの少しでも障害や病気のことを知ってほしい」と地域に向けて啓発する「第44回三家連(さんかれん)精神保健福祉大会」を名張育成会主管で開催し、いがなばりピアサポーターが中心となって力を合わせ、大会の企画運営をやり遂げました。

さんかれんとは、昭和43年に発足した「三重県精神障害者家族会連合会」の頭文字から三家連(さんかれん)と略称された、精神障害をかかえる当事者の家族の会です。平成18年には特定非営利活動法人三重県精神保健福祉会として法人格を取得し、公益社団法人全国精神保健福祉会連合会(みんなねっと)の地域組織として、今でも「三家連(さんかれん)」の愛称で、当事者の支援や地域への啓発など、共生社会の実現に向けて活動しています。

ピアサポーターとは、精神障害の当事者として自身の経験を活かし、精神障害者への支援を行うボランティアです。ピア(peer)とは同僚や仲間などといった意味で、厚生労働省の指針を受けて全国に広がり、その成果が目まぐるしくなっています。名張育成会のいがなばりピアサポーターは、伊賀圏域を拠点として活躍するピアサポーターです。



手話や大型スクリーンによる同時通訳。メッセージが、五感を通じて伝わってきます。

昭和43年からほぼ毎年開催され第44回大会となる今年は、名張育成会レイボークラブを事務局として、大会ポスターの原画制作、催しや企画立案、当日の司会進行など、いがなばりピアサポーターや関係者などが会議を重ね、様々な準備を重ねてきました。

今回のテーマは、「私たちのことを知ってください。誰のため?自分のため?何のため?」。少しでも知ってほしい…との願いを込めました。



ご来賓のお一人、亀井利克名張市長は、名張市開催の祝意とともに、精神障害に対する正しい理解を持ち、偏見や差別のないよう取り組んでいきたい、と挨拶されました。



オープニングを担当したオレンジヴォイス。名張市障害者地域活動支援センターひびきに通う当事者で、2007年に結成したコーラスグループです。障害の経験や思い、また願いや誓いを込めたオリジナル曲の合間に一人ひとりがメッセージを読み上げ、精神障害への理解を広げていきます。



漫才芸人トラッシュスターとの対談企画。「吃音症」、「躁うつ病」と、二人とも精神障害を抱えながらも、お笑いの世界で活躍しています。ピアサポーターからの質問に、笑いを交えながら的確にアドバイスする2人、「障害を抱える者同士、支え合うことが大切」と、障害と向き合いながら、マイナスをプラスに転じる姿勢はとても参考になりました。



落語家笑福亭松枝氏による記念講演「笑いのヒミツ」では、観客を笑いの渦に引き込みながら落語家ならではの講演で「人の数だけ答えはある」「誰でも少数派になりうる」などのメッセージを伝えてくれました。

(裏面につづく)

名張育成会の活動、ひとつずつ!

各施設の様子をお伝えする「MiRAiレポートブログ」から
選り抜きの話題をご紹介します。

はてなブログ MiRAiレポート

検索

特別養護老人ホームグランツァ



お茶会

去年大好評だったお茶会!
今年も茶道教室の先生をお招きし、お茶を点てていただきました。まず和菓子をいただき、点ていただいたお茶を、静かに味わいながらちょうだいします。

それぞれテーブルでいただきましたが、中にはお礼に向かわれる方も!とても穏やか

で、ゆったりとしたひと時でした。茶道教室の皆さま、本当にありがとうございました。

ようこそ名張へ、 ベトナム人技能実習生が着任しました。

ベトナム人の技能実習生2人が、春から行っていた日本国内での研修を終えて、ようやく入所支援施設の成美で実習を始めました。これから3年間(最長5年間)で、福祉の概念や介護の技能を学ばれます。

これからMiRAiブログでも色々とお伝えしていきますので、皆さんもお楽しみに!もし彼女たちを見かけたら、気軽に「シンチャオ(こんにちは)」と声をかけてくださいね!



施設入所支援(成美)



ワークプレイス 栞

公園清掃

栞では、名張市からの委託で月2回、公園清掃をしています。とても広い桔梗が丘西にある野鳥公園を2日に分け、メンバーも交代で行っています。溝の掃除やゴミ拾い、また枯草や刈り草集めなど、地域の方に、気持ちよく公園を利用していただくために、やりがいをもって一生懸命取り組んでいます。



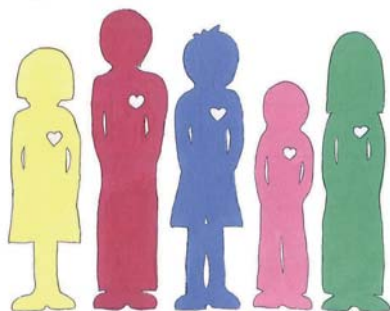
(表面より)

\\ なかま //

アートで大会を支えた仲間です!

大会シンボルとなるイラストを描いたのは、当事者で現役の創作アーティストです。個性ある5人の胸に白いハートを持つイラストは、明るく見えればとパステル調にし、さらに発色が鮮やかなアクリル絵の具を用いました。

白いハートは、心の象徴。心の中は外見からは伺えない、人の外面と内面のギャップが現われているようですね。



パンフレットに掲載された似顔絵は、当日参加できなかった仲間が描きました。ピア(仲間)の意味そのままに、**一人ひとりの個性を大切に思い、仲間を気遣う優しさ**が感じられますね。

様々な人の力を借り、仲間と助け合い、共生社会を目指して開催した大会。ご協力いただいたすべての方に感謝いたします。

他の障害と比べて誤解されやすい精神障害。今大会のテーマには「誰のため?自分のため?何のため?」というサブテーマがあります。精神障害について理解するのは、当事者のためだけではないはず。誰でも弱者になりうるこの社会が、もっと成熟し、誰もが輝いて生きることのできる世の中になってほしい。改めてそう強く感じた大会でした。

取材:広報委員会、田口知恵子(コミュニティFMを通じて、地元情報を日々伝えるナビゲーター。名張市在住。)

